

平成29年10月2日
国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所

名古屋市高年大学鯉城学園OBの方が 災害時に活躍する機械を体験します！ ～旬な現場（災害時に活躍する機械の体験）を開催します～

1 概要

名古屋市高年大学鯉城学園OBの方を対象に、無人化施工バックホウや排水ポンプ車をはじめとした災害対策用機械の見学・操作体験会を開催します。15名が参加する予定です。

中部技術事務所では、災害時等に活躍する様々な機械を保有しており、10名以上の団体であれば、旬な現場（※1）としてどなたでも通年で見学していただくことができます。

※1 中部地方整備局では、社会資本の役割を知っていただくため、通常立ち入ることのできない工事現場やダムなどの施設を「旬な現場」として一般の皆さんに公開をしています。
中部技術事務所では、災害対策用機械を見学していただいております。
詳細については中部地方整備局HP 旬な現場をご案内します をご覧ください。
http://www.cbr.mlit.go.jp/local_info/sougou/contents/shisetsu/construction/

2 内容等

日時：平成29年10月6日（金）14時00分～16時00分

場所：中部技術事務所構内

内容：中部技術事務所が保有している災害対策用機械の見学・操作体験
＜見学・操作体験予定機械＞

排水ポンプ車、照明車、衛星通信車、対策本部車、待機支援車、
無人化施工バックホウ、投下型水位計

報道取材：見学・操作体験会の全般において取材が可能です。

3 資料：添付資料

4 配布先：中部地方整備局 記者クラブ

5 問合せ先：国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所

副所長 金井 正輝 TEL:052-723-5701 (代表)
総務課長 伊神 啓介 FAX:052-723-5707
技術情報管理官 小村 伸次

6 その他：災害が発生もしくは防災体制時には見学・操作体験会を中止します。 中止の場合は、ご連絡しますので、取材を希望される方は事前に問合せ先までご連絡をお願いします。



● 中部技術事務所では、災害時等に活躍する様々な機械を保有しており、いつでも見学・体験ができます。

機 械 名	概 要
排水ポンプ車	浸水被害時に排水作業を行います。(体験可)
照明車	災害現場をライトで照らし、夜間作業を支援します。(体験可)
対策本部車	車体を拡幅して現地対策本部として利用します。(体験可)
待機支援車	災害現場で仮眠所・休憩所として利用します。
無人化施工バックホウ	災害現場へ分解して空輸ができ、遠隔操縦が可能です。(体験可)
投下型水位計	衛星通信により土砂ダムの水位を遠隔監視します。
衛星通信車	衛星を利用し電話等がない場所でも映像・音声などを通信できます。
橋梁点検車	橋梁上から橋の下側を点検します。

中部技術事務所のご案内



※ 見学は、休日を除く開庁日とさせていただきます。
 災害対応時、出勤時は、見学できない場合があります。
 団体(10名程度以上)の皆様を対象に見学・体験していただけます。
 詳細については、お問い合わせください。

照明車



H27関東・東北豪雨での照明作業

操作体験をする小学生

排水ポンプ車



H27関東・東北豪雨での排水作業

操作体験

無人化施工バックホウ



H28熊本地震での作業状況 遠隔操縦状況

対策本部車



車体拡幅時

操作体験

【問合せ先】 中部技術事務所 総務課 電話：052-723-5701
 【アクセス】 地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」下車1番出口より徒歩1分